

Title	表紙・原稿作成要領・編集後記・裏表紙ほか
Author(s)	
Citation	物性研究 (2002), 78(4): 510-510
Issue Date	2002-07-20
URL	http://hdl.handle.net/2433/97245
Right	
Type	Others
Textversion	publisher

昭和42年11月14日 第四種郵便物認可
平成14年7月20日発行(毎月1回 20日発行)
物 性 研 究 第78巻 第4号

ISSN 0525-2997

vol.78 no.4

物性研究

2002 / 7

1. 本誌は、物性の研究を共同で促進するため、研究者がその研究・意見を自由に発表し、討論しあい、また、研究に関連した情報を交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、研究に関連した諸問題についての意見などです。
2. 本誌に投稿された論文については、原則として審査は行いません。但し、編集委員会で本誌への掲載が不適当と判断された場合には、改訂を求めること、または掲載をお断りすることがあります。
3. 「物性研究」に掲載される論文の著作権は、物性研究刊行会に帰属することとします。但し、著者が著作物を使用することをさまたげるものではありません。
4. 本誌の論文を欧文の論文中で引用する時には、Bussei Kenkyu (Kyoto) **76** (2001), 1. のように引用して下さい。

[原稿作成要領]

1. 原稿は、原則として日本語に限ります。
2. 投稿原稿は2部提出して下さい。但し、研究会報告は1部で結構です。
3. 別刷を希望の場合は、投稿の際に、50部以上10部単位で、注文部数・別刷送付先・請求先を明記の上、お申し込み下さい。別刷代金については、刊行会までお問い合わせ下さい。
4. ワープロ原稿を歓迎します。原則として写真製版でそのまま印刷されますので、以下の点に注意して原稿を作成して下さい。
 - 1) 用紙はA4を縦に使用。(印刷はB5になります。縮小率86%)
 - 2) マージンは、上下各約3cm、左右各約2.5cm。1ページに本文34行、1行に全角文字で42字程度にして下さい。
 - 3) 第1ページは、タイトルはセンタリング、所属・氏名は右寄せにして、本文との間に受理日を入れるので、余白を少しあけて下さい。
 - 4) 図や表は本文中の該当箇所に貼り込み、図の下にキャプションを付けて下さい。
 - 5) 体裁については、上記は一応の目安ですので、多少の違いがあってもかまいません。
5. 研究会報告の作成要領については、物性研究ホームページをご覧ください。か、刊行会までお問い合わせ下さい。

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学 湯川記念館内
物性研究刊行会

Tel. (075)722-3540, 753-7051

Fax. (075)722-6339

E-mail busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

編集後記

日本中が熱狂したワールドカップサッカーも終り、蒸し暑くなってきましたが、いかがお過ごしでしょうか。今回の日本、韓国の活躍にはサッカー門外漢の私も大変興奮し、テレビに釘付けになってしまいました。ふりかえてみてアジア諸国の躍進の原因はどこにあるのかと考えてみると、やはり‘先進国’から指導者を監督に招き、科学的な基礎体力の強化と同時に、実戦における作戦・戦術を磨くことがあげられると思います。ここでもグローバリゼーションの波がアジア諸国と欧米の実力の差を縮めることになった気がしてなりません。個人的に興味をもったのはセネガルの異質な活躍です。解説者が口をそろえて彼らの身体能力の高さを称賛していましたが、これはその無謀（無策）とも言える選手の素朴な布陣術の裏返しに違いありません。ボクシングにたとえば、ガードを下げた接近戦で一か八かのパンチを繰り出すような戦いぶりは、計算を越えた野性味があり見ていて心地が良かったです。

スポーツの世界の場合、ルールが厳格に決められている以上、無防備な作戦ではある程度以上の成果は期待できないでしょう。学術出版の世界でも、TeX などの統一規格の文書整形システムの普及で、あらたな論文、書籍などが比較的容易に大量に生産されるようになり、その結果中身まで規格のそろった陳腐なものが増えるという現象が起っています。そんななか、あまり目立ちませんが、数物系の専門書で絶版となっていた良書が復刊されている事に時おり気が付くことがあります。異色の出来の本を再刊するという、おそらくは利益率の低いであろうこのような事業を支える出版社には敬意を表したいものです。この場合にはスポーツとは違って、読者層の反応次第によっては、その努力は大きく報われる可能性があります。

私も、学生の時に手をつけずじまいになっていた本を、懐かしさから思わず買ったことがあります。しかし、本当はこれでは復刊事業があまり意味をなさず、こういう本は若者に買っていただく方が復刊事業者の本望なのでしょう。

(cardamom)

[物性研究]

編集長

早川 尚男 (京大・人環)

編集委員

池田 浩章 (京大・理・物理)
 北村 光 (京大・理・物理)
 中尾 裕也 (京大・理・物理)
 藤本 聡 (京大・理・物理)
 加藤 将樹 (京大・理・化学)
 佐々木 豊 (京大・低温センター)
 常次 宏一 (京大・基研)
 大木谷 耕司 (京大・数研)

各地編集委員

飯間 信 (北大・電子研)
 早川 美徳 (東北大・理・物理)
 藤本 仰一 (東大・教養・基礎科第一)
 堀田 貴嗣 (原研・先端研)
 出口 哲生 (お茶の水大・理・物理)
 永井 寛之 (信州大・理・物理)
 岡本 祐幸 (分子科学研)
 倭 剛久 (名大・理・物理)
 池田 研介 (立命館大・理工・物理)
 関本 謙 (京大・基研／在フランス)
 森成 隆夫 (京大・基研／在アメリカ)
 菊池 誠 (阪大・理・物理)
 水口 毅 (大阪府大・工・数理工学)
 市岡 優典 (岡大・理・物理)
 吉森 明 (九大・理・物理)

E-mail: busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL: <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

物 性 研 究 第 78 卷 第 4 号 (平成 14 年 7 月号) 2002 年 7 月 20 日 発行

発行人 関 本 謙

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
 京都大学湯川記念館内

印刷所 昭和企業組合
 昭和堂印刷所

〒606-8225 京都市百万遍交差点上ル東側
 TEL(075)721-4541~3

発行所 物性研究刊行会

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
 京都大学湯川記念館内

年額 19,200円

[物性研究]

編集長

早川 尚男 (京大・人環)

編集委員

池田 浩章 (京大・理・物理)
北村 光 (京大・理・物理)
中尾 裕也 (京大・理・物理)
藤本 聡 (京大・理・物理)
加藤 将樹 (京大・理・化学)
佐々木 豊 (京大・低温センター)
常次 宏一 (京大・基研)
大木谷 耕司 (京大・数研)

各地編集委員

飯間 信 (北大・電子研)
早川 美徳 (東北大・理・物理)
藤本 仰一 (東大・教養・基礎科第一)
堀田 貴嗣 (原研・先端研)
出口 哲生 (お茶の水大・理・物理)
永井 寛之 (信州大・理・物理)
岡本 祐幸 (分子科学研)
倭 剛久 (名大・理・物理)
池田 研介 (立命館大・理工・物理)
関本 謙 (京大・基研／在フランス)
森成 隆夫 (京大・基研／在アメリカ)
菊池 誠 (阪大・理・物理)
水口 毅 (大阪府大・工・数理工学)
市岡 優典 (岡大・理・物理)
吉森 明 (九大・理・物理)

E-mail: busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL: <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

物 性 研 究 第 78 卷 第 4 号 (平成 14 年 7 月号) 2002 年 7 月 20 日 発行

発行人 関 本 謙

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学湯川記念館内

印刷所 昭和企業組合
昭和堂印刷所

〒606-8225 京都市百万遍交差点上ル東側
TEL(075)721-4541~3

発行所 物性研究刊行会

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学湯川記念館内

年額 19,200円

会員規定

個人会員

1. 会 費:

当会の会費は前納制になっています。したがって、3月末までに次年度分の会費をお振込み下さい。

年会費 9,600円

1st Volume (4月号～9月号)

2nd Volume (10月号～3月号)

振替用紙は毎年2月号にとじ込んであります。振替用紙が必要な場合は、下記までご請求下さい。郵便局の用紙でも結構です。通信欄に送金内容を必ず明記して下さい。

郵便振替口座 京都 01010-6-5312

2. 送本中止の場合:

送本の中止は年度の切れ目しかできません。次の年度より送本中止を希望される場合、できるだけ早めにご連絡下さい。中止の連絡のない限り、送本は自動的に継続されますのでご注意下さい。

3. 送本先変更の場合:

住所、勤務先の変更などにより、送本先が変わる場合は、すぐにご連絡下さい。

4. 会費滞納の場合:

正当な理由なく1年以上の会費を滞納された場合は、送本を停止することがありますので、ご注意下さい。

機関会員

1. 会 費:

学校、研究所等の入会、及び個人でも公費払いのときは機関会員とみなし、**年会費 19,200円**です。学校、研究所の会費の支払いは、後払いでも結構です。申し込み時に、支払いに書類(請求、見積、納品書)が各何通必要かをお知らせ下さい。当会の請求書類で支払いができない場合は、貴校、貴研究所の請求書類をご送付下さい。

2. 送本中止の場合:

送本の中止は年度の切れ目しかできません。次の年度より送本中止を希望される場合、できるだけ早めにご連絡下さい。中止の連絡のない限り、送本は自動的に継続されますのでご注意下さい。

雑誌未着の場合: 発行日より6ヶ月以内に下記までご連絡下さい。

物 性 研 究 刊 行 会

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内

電話 (075)722-3540, 753-7051

FAX (075)722-6339

E-mail busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

物性研究 78-4(7月号)目次

○研究会報告

「複雑な多谷ポテンシャルエネルギー面上で生起する動力学的問題
—力学的決定性と統計性の中間領域を探る(第2回)—」…………… 349

○ファネル談義 —なぜ蛋白質は一義的に効率よく折り畳むのでしょうか?—
……………笹井 理生、小松崎 民樹、戸田 幹人 ……… 475

○編集後記…………… 510

物 性 研 究 78-4 (7月号) 目 次

○研究会報告

「複雑な多谷ポテンシャルエネルギー面上で生起する動力学的問題
—力学的決定性と統計性の中間領域を探る(第2回)—」…………… 349

○ファネル談義 —なぜ蛋白質は一義的に効率よく折り畳むのでしょうか?—
……………笹井 理生、小松崎 民樹、戸田 幹人 ……… 475

○編集後記…………… 510